

伊丹福音ルーテル教会 主の顕現主日礼拝のしおり

2022年1月2日

前奏

招きのことば：詩編 22 編 28-32 節

地の果てまで すべての人が主を認め、御もとに立ち帰り

国々の民が御前にひれ伏しますように。

王権は主にあり、主は国々を治められます。

命に溢れてこの地に住む者はことごとく 主にひれ伏し

塵に下った者もすべて御前に身を屈めます。

わたしの魂は必ず命を得 子孫は神に仕え 主のことを来るべき代に語り伝え

成し遂げてくださった恵みの御業を 民の末に告げ知らせるでしょう。

罪の悔い改めと赦しのことば

会衆： 私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。（短い黙祷を持ちましょう）

牧師： 何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言 します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン。**

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。 アーメン。

祈り

愛とあわれみに満ちておられる 私たちの父なる神様、心から感謝をいたします。あなたは私たちの昨年の歩みを導いてくださいました。また、今朝も共に礼拝にあずかって、罪の赦しをいただき、新しいいのちをいただきます。救い主であり、主であるイエス様が、新しい年も私たちの生活のただ中にお住いくださって、私たちの新しい年の歩みをも導いてください。礼拝で神様の愛と恵みに満たされ、家庭、社会で豊かに実を結ぶ年となりますように。置かれたところで神様と隣人にお仕える喜びを生きる一年としてください。

新型コロナ・ウィルスの感染拡大を防ぐために、なお緊張感を保っていかなければなりません。その中でも 御手にゆだね確信をもって、あなたの子どもとして 安心して 生き生きと生きる日々を与えてください。

この祈りを、私たちの救い主であり 主である イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン**

使徒書朗読：エフェソ3章1-12節

こういうわけで、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となっているわたしパウロは……。あなたがたのために神がわたしに恵みをお与えになった次第について、あなたがたは聞いたにちがひありません。初めに手短かに書いたように、秘められた計画が啓示によってわたしに知らされました。あなたがたは、それを読めば、キリストによって実現されるこの計画を、わたしがどのように理解しているかが分かると思います。この計画は、キリスト以前の時代には人の子らに知らされていませんでしたが、今や“霊”によって、キリストの聖なる使徒たちや預言者たちに啓示されました。すなわち、異邦人が福音によってキリスト・イエスにおいて、約束されたものをわたしたちと一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となるということです。神は、その力を働かせてわたしに恵みを賜り、この福音に仕える者としてくださいました。この恵みは、聖なる者たちすべての中で最もつまらない者であるわたしに与えられました。わたしは、この恵みにより、キリストの計り知れない富について、異邦人に福音を告げ知らせており、すべてのものをお造りになった神の内に世の初めから隠されていた秘められた計画が、どのように実現されるのかを、すべての人々に説き明かしています。こうして、いろいろの働きをする神の知恵は、今や教会によって、天上の支配や権威に知らされるようになったのですが、これは、神がわたしたちの主キリスト・イエスによって実現された永遠の計画に沿うものです。わたしたちは主キリストに結ばれており、キリストに対する信仰により、確信をもって、大胆に神に近づくことができます。

福音書朗読：マタイによる福音書2章1-12節

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。これを

聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。『ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

讚美歌 411 番

1. すべしらす神よ、ときわに導く み手のおおみわざ、我ら ほめたたう
2. **新しき年は 主の愛をしめす、恵みは たえせじ 年の終わるまで**
3. 家にも 旅にも 夜昼 わかたず、み恵みを受けて この年を過ごさん
4. **我らの行く先、定かに見えねど、導く光に 身を委(ゆだ)ねまつらん**
5. 禍幸(まがさち)よしあし 行き交う中にも、我らの喜び 安(やす)きは主にあり **アーメン**

説教：「ひれ伏して幼子を拝む」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

新年のご挨拶をいたします。旧年中はお世話になりました。新しい年も神様の恵みに共にあずかってまいりましょう。主にあってよろしく願いいたします。

毎年1月6日が顕現日とされていて、今日は顕現主日をいわれます。顕現日というのは、顕わに現わされる日ということで、英語ではエピファニーと言うそうです。イエス様が世界の救い主であることが改めて明らかにされた日、という意味です。

クリスマスにお生まれになったイエス様を訪ねて、遠く東の外国から学者たちが高価な贈り物を携えてベツレヘムに来たことが、今日読まれたマタイによる福音書2章に記されています。イエス様がユダヤの国民的救い主と言うのではなく、世界の人々の罪を赦すために来てくださった救い主であることが明らかにされました。

占星術の学者たちが来たと記されています。占星術と天文学の区別のない時代でした。学者は学問と政治にかかわっていました。東の方と呼ばれているあたりは、当時、学問や科学がもっとも進んでいました。ですからイメージに注意してください。お客さん相手の星占いをする人たちが何人が誘い合わせてらるかの背中に揺られて砂漠をのんびりまったりと旅したというよりも、星の研究で判明したユダヤ人の王の誕生を知って忙しい研究の合間をぬってスマートに訪れたという感じでしょう。

彼らは自分の研究の仕事をしている間に、ぼんやりと神様のみ旨を知りました。そしてユダヤ人の王の誕生というのだからと、はるばるユダヤ人の王であったヘロデを訪ね、「東の国で星の研究をする学者をしておりますが、お生まれになったユダヤ人の王はどこにおいででしょうか、研究によってその方の星を見ましたので、はるばる拝みに来ました」と言いました。ヘロデ王という王様は、自分が王になるために邪魔になるなら家族、親族であっても容赦なく殺してきた残忍な王です。また、ローマ帝国の中で、自分がユダヤ地方の王と名乗れるために苦心を重ねてきた人物です。遠い、学問の進んだ、強大な外国から、自分の支配する王国に博士たちが送り込まれてきた。日本の歴史ではさしずめ江戸時代の終わりに黒船が来たくらい驚きでした。自分の王としての地位や命が危うい、と大きな不安にかられたヘロデ王はうまく立ち回って、博士たちには丁寧に対応し、しかしその子は赤ちゃんのうちに殺してしまおう、とたくらみました。ヘロデ王は生まれた場所と時期を確認しなければなりません。ヘロデ王の驚きと恐れはエルサレムの人々の知るところとなり、民も不安を抱いたと記されています。

ヘロデ王は急いで国中から祭司長や律法学者を招集し、旧約聖書ミカ書5章1節の約束からイスラエルを治めるお方はベツレヘムから出ることを突き止めました。王は博士たちに場所を教え、そのかわり生まれた時期を聞き出しました。王は博士たちをベツレヘムへ送り出し、みつかったら帰りに寄って私に教えてほしい、私も言って拝みたい、と告げました。

ヘロデの下心を知らない博士たちはベツレヘムへ向かうと、東で見た同じ星が先立って進んで、イエス様のいる家の上で止まったので、家に入って母マリヤと共にいたイエス様に会うことができました。聖書をしらなかった外国人の博士たちがどのように世界の救い主であるイエス様にお出会いすることができたのでしょうか。自分の生活や仕事のなかでまず漠然と救い主を求めるようになりました。そして聖書のみ言葉との出会いによって確かに導かれ、聖書を通して私たちにお働きになる聖霊によってイエス様と出会うことができたのです。博士たちがイエス様を見つけたというよりも、これは私たちの経験と同じですが、イエス様のところへ聖書のみ言葉を通して導かれたという方がよいでしょう。

その昔、アダムとエバが罪を犯して神様から離れてしまったとき、神様は女の子孫から人類の救い主を送ると約束され、その救い主が待ち望まれるように神様はアブラハムを選んで代々その民を神の民として導いてきました。ついに時満ちて、このユダヤ人の王、世界の救い主であるイエス様が預言者ミカの言葉通りベツレヘムでお生まれになったのです。

東の国から導かれて訪れた博士たちは、まだ生まれたばかりのイエス様でしたが、救い主としてその前でひれ伏して拝みました。さらに、自ら持てるものすべてをささげました。はるばる宝の箱を持ってきていました。黄金、乳香、没薬をささげました。黄金は王にささげることになっていました。あなたは王様に何をささげることができるでしょうか。博士たちはイエス様に、あなたは私の王です、救い主であり主です、という信仰告白を託して黄金をささげました。乳香は礼拝に用いた香料です。加熱すると薫り高い白い美しいけむりがたちのぼります。私たちの罪を赦して神の子としてくださるイエス様のお名前によって祈る私たちの祈りが、確かに神様に聞かれているという確信です。さらに不思議なことに没薬がささげられました。イエス様は世界の人々の罪を赦すためにかわりに十字架で死んでくださることを預言するささげものです。

私たちの礼拝も同じです。イエス様が私の罪を赦すために死んでくださったこと、そして新しい命を与えるためによみがえってくださったという聖書の言葉を聞きます。そして、私たちは応答として、イエス様が私の救い主です、と信仰を告白し、神の子として私たちを愛して下さっている父なる神様に感謝と願いを祈り、イエス様が私のため、そして全世界の人々のために死んでよみがえってくださったことの証し人として生きていきます。

彼らは夢でお告げを受けて、ヘロデ王のところに立ち寄り「別の道」を通して自分の国に帰りました。自分の身を守るためにイエス様を亡き者にしようとする計画を隠していたヘロデ王に協力しないで、自分の国に帰りました。そこでイエス様の誕生を語り広めたことでしょう。

今日は顕現主日ということで、マタイによる福音書2章から、イエス様の誕生がイスラエルの民以外の、異邦人、外国人にも明らかになったことを覚えていきます。東の国の博士たちは旧約聖書を知らない外国人でしたが、神様は博士たちをイエス様のもとに導いてくださいました。そして、恐ろしいヘロデ王に出会っても彼らを守ってくださいました。聖書のことばを通して、また星に導かれて救い主のイエス様と会うことができました。イエス様を王として、救い主として告白し、神の子とされて祈り、イエス様の死を伝える証し人として、残る生涯を歩んでいきました。イエス様がすっかり彼らの人生を作り変えてくださり、「別の道」を通る生涯を導いてくださいました。あなたの「別の道」は何でしょうか。神様は私たちも同じように導いて、イエス様によって罪を赦し、新しい神の子としてのいのちを与えてくださいます。私たちも世の人々の知らない「別の道」を歩む喜びと感謝の生涯を送らせていただきます。

ところでヘロデ王や、ヘロデ王の呼び集めた祭司長や律法学者のことが気になります。ヘロデ王は救い主が生まれたことを聞いて、不安でした。自分以外の王がうまれた、と知って自分のプライドが許しません。博士が帰ってこないことを知ると、ベツレヘム一帯の二歳以下の男の子を一人残らず殺しました。私たちは自分の人生に責任があります。しかし、それは神様にかわって自分ですべてを支配していくことではありません。そもそも私は神様に作られ、導かれ、いまおかれているところで生かされています。遠くから来た博士たちはイエス様に出会い、イ

イエスを自分の王として告白し、御名によって祈りつつ、イエス様の証し人としてののびのびはつらつと生きていきました。ヘロデ王のように罪深い思いを抱えたまま、自分の思いのままに生きていくと、過去が気になり、今が不安で、将来に希望がありません。神様に背を向けたまま人々を傷つけて歩むしかないので。聖書のみ言葉に約束されている福音を信じましょう。神様から遣わされ、私の罪を赦して神の子としてくださるイエス様を救い主と信じましょう。神の子どもとされて安心し、父なる神様になんでも祈りながら、神様が置かれたところで、イエス様の証し人として、ただしくはつらつと与えられた使命に創造的に、建設的に打ち込んでいきましょう。

また、祭司長や律法学者のまんねり化した姿も気になります。彼らは救い主がどこで生まれたかを聖書から答えることができました。聖書の知識はありますが、それが自分のためだと信頼していません。自分は大丈夫、と根拠のない平安にあぐらをかき、自分の解釈で聖書を民に教え民を動かします。待ち望んでいた救い主イエス様が生まれたと外国の人から教えてもらっても、自分たちは一歩も動きませんでした。イエス様に会いませんでした。感謝のあまり自分の大切なすべてを神様におささげしたい、という抑えられない思いも起こされません。民たちに聖書を教え、神様の民として歩めるように政治を行い続けました。しかしやがて彼らがイエス様をとらえ、国民を扇動してイエス様を苦しめ、ついにイエス様を十字架にかけて殺します。

結局ヘロデも祭司長・律法学者も、自分を守るために、そのような自分中心でわがままな私たちを赦すために来てくださったイエス様を殺そうと考えたのでした。これよりも大きな罪はあるでしょうか。聖書を知りながら、イエス様に出会わず、罪赦されず、自分で聖書を身勝手に解釈して、人々に権威をふるって教え従わせている彼らは、偽りの教師です。私たちも人に教えて自分は信じない偽りの教師になってしまうことがあります。み言葉に教えられたことをそのまま信じて救い主に出会った博士たちと対照的です。本年も共に聖書のみ言葉を聞き、恵みにあずかりましょう。そして、イエス様の前に自分中心でわがままな罪を悔い改めて、私を赦そうとご自分のいのちを与えるために来てくださったイエス様が、私の救い主だと信頼しましょう。そこに新しいいのちが与えられます。信仰の告白が喜びになり、いつも神の子として天の父に何でも祈り、置かれた境遇に満足しながらイエス様が私たちのすべてのために十字架で死んでくださったことの喜びの証し人としていきる、のびのびしたいいのちが与えられます。

「家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。」マタイ 2:11

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってください。アーメン

讚美歌 414 番 献金 献金感謝の祈り

1. あらたまの 年たちかえり、うらうらと 初日(はつひ)におえり

家ごとに松竹たてて 新年(にいどし)を 祝うめでたさ

2. **人みなは 親しみ むつび、おさまれる 御代をことほぐ
恵みもて 年のかむりと なしたまえ 天(あま)つ御神よ**

3. ひととせの 計画(たくみ)は すべて 新年(にいどし)に ありとし言えば
みこころを 我に示して、この年も 勝ちを得させよ

4. **うつし世も 天(あま)つみくにの 心地して きよきこの日の
我がたまを いよよきよめて ささげばや きよきみまえに アーメン**

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たせたまえ。
みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。
われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。
われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

頌栄：讚美歌 543 番

主イエスの恵みよ、父の愛よ、御霊の力よ、あぁみ栄えよ **アーメン**

祝福の言葉

仰ぎこいねがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき
お交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、
豊かにありますように。 **アーメン**

後奏